

インクルーシブ公園／ 保育の質ガイドライン

白井 亨
(こがおも)

①インクルーシブ公園とは、障がいのある子もいない子も一緒に遊ぶことができる公園である。(ア)小金井市にこのような公園はあるか(イ)小金井市でも整備を検討してはどうか。(ウ)都立小金井公園でも整備するよう東京都に要望しないか。

②保育の質ガイドラインの議論が終盤にきている。(ア)全民間保育施設への説明



国内初のインクルーシブ公園、世田谷区砧公園を視察



を。(イ)保護者への周知は。(ウ)世田谷区を参考に、保護者向けに分かりやすく解説する冊子を作成しないか。(エ)策定後の活用方法をガイドラインに明記しないか。課長 (ア)何らかの形で努めていきたいと考えている。

子どもたち、みんなで見守り地域の中で

遠藤百合子
(自民党・信頼)

子どもの安全・安心の確保は家族にとって最大の関心事で、社会全体で取り組む必要がある。(ア)子どもを見守る家(カンガルーのポケット)の今後については。(イ)下校時の見守り体制は。(ウ)防災行政無線でのふれあいメモデリーの活用については。(エ)安心・安全まちづくり協議会の現状は。(オ)安全・安心メール配信システムの現状と今後の取組は。(カ)わんわんパトロールの現状の動向は。(キ)民間事業者との連携は。部長 (ア)カンガルーのポケットは、新しいデザインプレートになり、令和3



年4月以降順次切り替わる。(イ)今後も警察と関係機関と連携する。(ウ)災害に備えての機器点検、子どもの見守り活動として協力をお願いしている。(エ)今年度は、防犯指針の軽微な変更を行っている。(オ)登録件数は1万2千197件であり、引き続き、広く情報提供に努めたい。(カ)防災活動に協力している本町小学校と第二小学校の団体が東京都民安全推進本部長賞の感謝状を受賞した。今後も警察と連携していく。(キ)今後も様々な事業者と連携し、継続したい。その他、はげの森美術館でのギャラリーコンサート開催、子ども宅食事業等について質問しました。

新庁舎建設後の 市有地の活用について

斎藤康夫
(市民会議)

(ア)新庁舎を建設すれば、本庁舎の跡地だけでなく、第二庁舎北側駐車場や前原暫定集会施設の跡地などの活用について総合的に考える必要がある。どのように考えているのか。(イ)第二庁舎北側駐車場に隣接する大型マンションの権利者の資産は、過去の市政運営によって毀損されている。その一例を示す。昭和47年に建築確認を受けたが、翌年の都市計画変更により竣工時には既存不適格建築物となつてしまった。都市計画変更の結果、容積率約60%の建物が建っている敷地に、今後は200%の建物しか建て



られない。その結果、この建物を建て替えた場合、3分の1以上の居住者は、補償も無く転居せざるを得ない。その上、この建物は特定緊急輸送道路沿道建築物として耐震化を求められているが、補助金を取得できない状況となつてしまった。これらの毀損された市民の権利を治癒するために、用途地域の変更や容積率の緩和を行うべきである。部長 (ア)来年度の公共施設等総合管理計画の改定と併せて検討を進める。

新型コロナウイルスから 生命を守る体制を

板倉真也
(日本共産党)

①医療機関の収益大幅減への支援金支給は必要との認識に立っているか。(イ)緊急対応方針(第4弾)に医療事業所への支援金支給が明記されなかったのはなぜか。(ウ)来年度を待たずに補正予算を組むべきである。部長 (ア)必要であると考えている。(イ)数百名の医療従事者が働く病院もあれば、数名で開設している診療所もあり、また、歯科医院や薬局も、医療を提供する上で不可欠である。医療に限らず、市内で事業を営む方全てに行き渡る施策を今後展開していくことを検討すべきなのかということもあ



り、医療に特化して重点的に支援を行うことを明記することにについては判断が難しい。(ウ)様々な点を勘案した上で、今後判断していくことになるかと考えている。②道路の補修工事に必要な予算を保障すべきである。部長 今後は補修を要する道路は増加していくものと考えている。部分補修も、路線としての補修工事も、しっかりと取り組まなければならぬと考えている。市長 安全性の確保も重要なので、そういった点も念頭に入れ、今後も引き続き、市内の道路が安全に、また、快適にご利用いただけるよう、精一杯努めていきたいと考えている。

防犯カメラの 更なる普及を

宮下 誠
(公明党)

①市内全域の通学路や住宅街に防犯カメラが設置されているが、地域では侵入窃盗などの事件が引き続き発生している。(ア)防犯カメラの増設を計画的に進めてはどうか。(イ)活用できる補助制度の内容を示してほしい。(ウ)補助制度等について、市報やホームページで情報提供を行うのはどうか。部長 (ア)現在、自治会・町会等で50台が設置されており、今後は基本的には自治会等、地域の意見を聞きながら取り組んでいく。(イ)各種の条件はあるが、地域団体への補助金制度があり、1団体の1台当たりの負担



金額は5万円程度に軽減される。(ウ)掲載を検討したい。②小学校通学路の防犯カメラを増設する必要があると思うが、現在の状況は。部長 現在、各小学校の通学路に5台ずつ、計45台設置されている。今年度は、補助金を活用し、新たに11台の設置を予定している。③ドライブレコーダーを活用した新しい技術「走る防犯カメラ」について、市が所有する公用車に設置してはどうか。部長 今後、他市事例等の情報収集に努め、研究していきたいと考えている。その他、デジタル格差解消や免疫力アップへの取組について質問しました。

地元・東小金井駅北口の 区画整理事業を問う

清水がく
(自民党・信頼)

東小金井駅北口の駅前ロータリーには小金井薄紅桜の若木が植樹されている。植樹に携わった方に、なぜ植樹をしたのか伺ったところ、東小金井のまちの成長、また、地域に住む市民と共に成長し、自身の成長も薄紅桜の成長と共に振り返り、まちの歴史と薄紅桜が共に歩むというような思いがあったとのことである。このように、東小金井駅北口には地域の思いがこもっているが、駅前には柵や空き地が目立ち、延々と工事が行われている。なお、駅前の公園予定地があるが、中央線の車窓から公園が見え、東



小金井駅で下車してみたいと思えるまちにするためにも、公園整備への早期着手、先行着手をすべきと考える。地元の方からも同様の声を聞くが、見解を伺う。部長 非常に有意義な公園であると考えている。ご指摘のとおり可能な限り早期に整備できるように調整していきたいと考えている。



小金井薄紅桜の写真

安心して産み育てられる 子育て支援の拡充を

紀 由紀子
(公明党)

(ア)これまで、孤独の孤育、と言われる現代にあつて悪戦苦闘している母親にエールを送りたい等の思いを持って、切れ目のない子育て支援を目指して様々な提案をしてきた。子育て支援を拡充することは、子育て世代に恩恵が及ぶだけでなく、高齢者を支える支え手を増やすことにもなり、国や自治体の将来にとって大事な施策である。出産育児一時金を50万円に拡充しないか。(イ)多胎児家庭のSOSに応え、補助金等を活用しながら早急に支援を強化すべきである。多胎児を連れての外出は、移動が



困難なため、タクシー利用券の配布を来年度も続けたいか。(ウ)保育の入所指数や優先項目で、多胎児への加算などの配慮を行えないか。(エ)産後うつ等の予防・支援のため、男性の育児休業の取得を促進しないか。部長 (ア)国の動向を注視し、制度に沿って拡充を図りたい。(イ)東京都の補助制度がない場合、市独自で行うことは厳しいのが現状である。(ウ)令和3年4月の認可保育所の入所から、指数の加算項目に多胎児支援の項目を設定した。(エ)育児休業を取得しやすい職場環境づくりが課題である。その他、ひきこもり支援について質問しました。

はげと野川を壊す 道路はいらない

坂井えつ子
(緑・つながる)

次期都市計画マスタープランのたたき台では、個別路線についての記載をせず3項目で都市計画道路全体の考え方を示している。(ア)近隣の都市計画マスタープランでは、優先整備路線についてどう記載しているか。(イ)3・4・1号線に関して、はげの保全についての考え方は。(ウ)はげと野川を守るため、3・4・1号線と3・4・12号線は見直しを求めているのか。部長 (ア)近隣の例では、整備推進を図ると記載することが多く、妥当な表現と認めるが、当該2路線は否定的・肯定的両方の意見があ



はげ付近にオオタカの幼鳥 (2020年9月 東町Mさん撮影)